

環境配慮への取組

1 ZEB技術を利用した研究会室の導入

留学生等への日本の技術紹介として、自然採光システムや次世代人検知システム等民間資金で設置したZEB関連技術（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル：快適な室内環境を実現しながら消費するエネルギーをゼロにすることを目的とした建物）を大学の一部施設に対して試験的に導入しています。

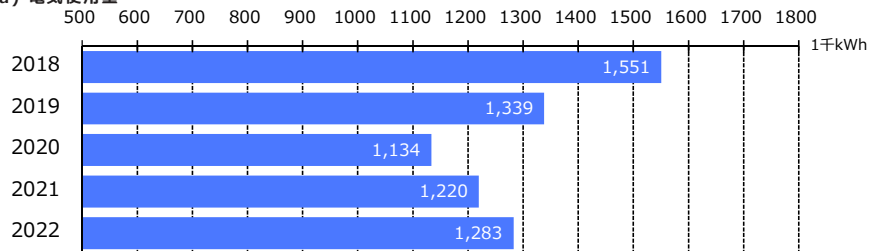


2 全館LED照明化による電気使用量の削減

地球温暖化対策への具体的な取組として2018年度に証明器具4千個のLED化を行い電力使用量を13.7%、電力料金を16.5%削減しました。

2020年度の電力使用量は1,134kwhとなり新型コロナウイルス感染症対策による大学閉鎖の影響を受けて前年比15.3%の減少となっています。

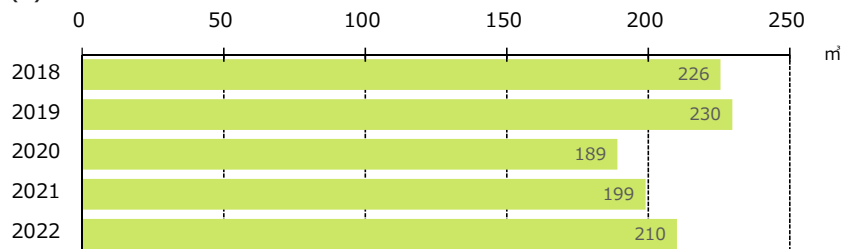
(a) 電気使用量



3 ガス・水道等の使用量の推移

2020年度は新型コロナウイルス感染症対策による大学閉鎖の影響を受け、各使用量は前年に比べ減少しています。また、施設予防保全の観点から、2024年春までに六本木キャンパスの高層棟に設置しているガスヒートポンプ更新工事を実施することでガス使用量を抑える取組みを行っています。

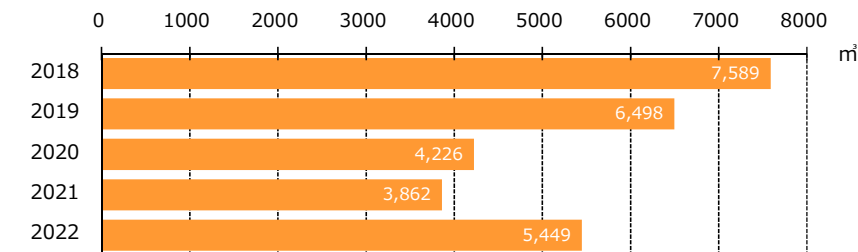
(b) ガス使用量



4 上水使用量の推移

2022年度はコロナ禍による行動制限も徐々に緩和されてきた結果、5,449m³となった。

(c) 上水使用量



5 CO2排出量の推移

2022年度はコロナ禍による行動制限も徐々に緩和されてきた結果、1,030tとなった。

(d) CO2排出量

